



2021年度全日本ナショナルチームメンバー選考会

3月12~14日/ドリームスタジアム太田



総勢52名の2021年度ナショナルチーム、ユースナショナルチームメンバー(©JBC)

ユース24名を含む史上最多の52名を選抜 2026名古屋・アジア競技大会を視野に強化

コロナ禍で、昨年1年間はナショナルチームも休止状態だったが、(公財)全日本ボウリング協会は、2021年度全日本ナショナルチーム・ユースナショナルチーム選考会を、3月12日から3日間、群馬・ドリームスタジアム太田で実施した。男女のナショナルチームメンバー各14名、男女のユースナショナルチームメンバー各12名の、コロナ後を見据えて史上最多となる総勢52名が選抜された。

今回の選考会には、2020年度ナショナルチームメンバーや加盟団体推薦者ら101名がエントリーし、8Gずつ4種類のオイルパターンで行われた。また2日目の8G×2シフトは、カレントフレームスコアリングが採用された。これまでの選考会の成績に、過去の実績などを加味して選考されていたが、今回は選考会の成績のみでの選出となった。男

子では宮澤拓哉選手が7555を打って、2位の安里秀策選手に279ピン差をつける1位だった。「地元での選考会なので、一番にならなきゃという思いが強かった。会場のドリスタでも何度も本番のオイルパターンを作って練習をさせてもらった」と宮澤選手。女子も同じ群馬の渡辺莉央選手が泉宗心音選手に158ピン差をつける6883で1位だった。



た。渡辺選手は「選考会の翌週にはマスターズの2連覇がかかる全日本選手権もあって、モチベーションが高く調整がしやすかった。いい投げ球ができた」と振り返った。

その成績の上位者ナショナルチームは男女各8名、ユースナショナルチームは各6名をエリートメンバーに認定。そのエリートメンバーも固定せず随時入れ替えることで、チーム内の競争意識を高める狙いだ。

全日本ナショナルチームメンバー

●ナショナルチーム男子

氏名	連盟	所属(学校・勤務先)	年齢	利き手
☆佐々木 智之	神奈川県	ヒサカプロショップ	34	右
☆安里 秀策	和歌山県	日高東宝ボウル	29	右
☆宮澤 拓哉	群馬県	群馬県ボウリング連盟	24	右
☆井口 遼太	東京都	笹塚ボウル	22	右
☆畑 秀明	神奈川県	日本精工(株)	19	右・両手
☆木村 晃	神奈川県	横浜調理師専門学校	19	右
☆村濱 裕紀	沖縄県	(株)エナジックインターナショナル	31	右
☆羽ヶ崎 匠海	学生連合	東京工科大学	20	右
菅野 直人	神奈川県	江の島ボウリングセンター	18	右
林 元輝	学生連合	名古屋産業大学	18	右
齋藤 翔	学生連合	同志社大学	18	右
堤 祐樹	奈良県	大和ガス住宅設備(株)	30	右
徳久 恵大	長崎県	長崎国際大学	20	右
原口 優馬	長崎県	(株)チョープロ	21	右

●ナショナルチーム女子

☆佐藤 悠里	神奈川県	ボウリング王国 スポルト八景店	29	右
☆泉宗 心音	愛媛県	聖カタリナ大学	21	右
☆渡辺 莉央	群馬県	上武大学	19	右
☆野中 美咲	東京都	笹塚ボウル	19	右
☆谷原 美来	三重県	(株)百五銀行	24	左
☆入江 菜々美	三重県	(公財)三重県スポーツ協会	24	右
☆立花 沙貴	学生連合	京都産業大学	18	右
☆石本 美来	広島県	JFE スチール(株)	24	右
大河内 未来	福島県	(株)アグリテクノ	24	右
石田 玲奈	群馬県	パークレオン高崎	18	右
鈴木 波流	静岡県	常葉大学	19	右
梶田 ひかる	三重県	伊賀上野ケーブルテレビ(株)	29	右
竹山 亜希	滋賀県	(株)キャン	25	右
今井 双葉	熊本県	フジクラプレジジョン(株)	24	右

●ユースナショナルチーム男子

☆菅原 奏	岩手県	盛岡市立高等学校	16	右・両手
☆清水 嵐太	群馬県	群馬県立榛名高等学校	17	右・両手
☆吉原 正明	埼玉県	埼玉県立川越高等学校	17	右・両手
☆佐藤 滉介	千葉県	千葉商科大学付属高等学校	16	右・両手
☆福満 亮	長崎県	西海学園高等学校	17	左
☆座波 政斗	沖縄県	沖縄県立首里東高等学校	15	右
砂長 空	群馬県	桐生第一高等学校	16	右
塚田 侑希	神奈川県	桐光学園高等学校	17	右・両手
河内 唯斗	石川県	金沢龍谷高等学校	16	右
村野 涉史	大阪府	大阪府立茨木西高等学校	16	右
熊 凌汰	福岡県	福岡県立香椎高等学校	16	左・両手
愛甲 雅治	宮崎県	宮崎県立宮崎南高等学校	15	右・両手

●ユースナショナルチーム女子

☆我孫子 美葵	宮城県	加美町立中新田中学校	14	右
☆近藤 眞桜	群馬県	太田市立太田高等学校	15	右
☆濱崎 りりあ	神奈川県	神奈川県立綾瀬高等学校	15	右
☆近藤 菜帆	愛知県	愛知県立三好高等学校	17	右
☆戸塚 知菜	愛知県	愛知県立木曾川高等学校	16	右
☆石田 万音	兵庫県	神戸市立神戸野田高等学校	15	右
渡辺 希哩	群馬県	前橋市立前橋高等学校	15	右
熊田 菜奈海	埼玉県	細田学園高等学校	15	左
矢野 彩花	東京都	東京都立青梅総合高等学校	16	右
林 育美	愛知県	愛知県立木曾川高等学校	16	右
石本 恵梨奈	大阪府	大阪成蹊女子高等学校	17	右
中島 望結	佐賀県	佐賀県立佐賀北高等学校	17	右

(名前の前の☆はエリートメンバー。ナショナルチーム男子の佐々木智之はプレイングコーチキャプテン、安里秀策はバイスキャプテン、ナショナルチーム女子の佐藤悠里はキャプテン、泉宗心音はバイスキャプテン)

下地賀寿守・ナショナルチーム監督に聞く

最大のターゲットは5年後の名古屋アジア大会

アリングで行われました。

オリンピック種目へのアピールのためにも、わかりやすいカレントフレームが今後、国際大会でスタンダードになっていくだろうと思います。日本でまだこのシステムを導入しているセンターは少ないですが、今回会場を提供していただいたドリスタさんはそのうちのひとつで、選手に体感してもらいたい機会だと思いました。

——実際にやってみての感想はいかがですか。

800シリーズや、4Gで1080というスコアも出て、従来方式よりもアベレージで20ピンぐらい高かったですね。スコアにおけるストライクの比重が大きいです。みんなアグレッシブで思い切った攻めをしていました。1投で10本のピンを倒すという、ボウリングの原点

を集約したようなシステムかなということも思いました。

——コロナの収束が見えないなかでの強化は、容易ではないと思いますが。

今年予定されていた大会はほぼ来年に延期となっています。今開催されても、大会の前2週間ずつ隔離されるのでは、実際問題参加は難しいですね。具体的な目標がないと、選手のモチベーションが上がらないし、選手任せでスキルを上げるというのも乱暴です。エリートメンバーというカテゴリーを設けたのも、競争意識を維持していこうというのが狙いのひとつですが、日ごろからコミュニケーションを取りながら、動画やSNSなども駆使して、一堂に会せずとも強化が図れるようなプランを練り上げていこうと、今準備をしています。



——今回は選考会の成績だけでの選抜となりました。

国際大会がまったくない1年を過ごしてきて、さらに来年中国・広州でのアジア大会も、ボウリングが正式種目になったという通達もない。そうであれば直近の来年というよりも、愛知で開催される次の2026年を見据えた強化を図っていこうと考えました。だからそこへ向けてのスタート地点ということで、過去の実績とか関係なく、選考会の成績だけで選びました。

——選考会の32G後半分の16Gはカレントフレームスコ